

令和7年度
教科名等

家庭 科

科目名	対象学年	対象クラス	単位数	分類	予定時数
家庭基礎	1	A B C D E F	2	必修修	70 時間

教科担当・教材等

授業担当者名	
教科書	家庭基礎 自立・共生・創造、東京書籍
使用教材等	なし

科目の目標

学習目標	【知識及び技能】人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだし課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。
------	---

年間授業計画

学期	単元・単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価基準
1	単元名 人生をつくる 【知】 ・生涯発達の視点で青年期の課題を理解する。 ・家族・家庭と社会との関わりについて理解を深める。 【思】 ・家庭や地域のよりよい生活を創造するために、自己の意思決定に基づき、責任をもって行動することについて問題を見いだし課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。 【態】 ・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、青年期の自立と家族・家庭について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとする。 単元名 衣生活をつくる 【知】 ・ライフステージや目的に応じた被服の機能と着装について理解する。 ・被服の計画・管理に必要な技能を身に付ける。 【思】 ・被服の機能性や快適性について問題を見いだし課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。 【態】 ・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、衣生活と健康について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践する	・指導事項 人生をつくる (1)人生をつくる (2)家族・家庭を見つめる (3)これからの生活と社会	単元名 人生をつくる 【知】 ・生涯発達の視点で青年期の課題を理解している。 ・家族・家庭と社会との関わりについて理解を深めている。 【思】 ・家庭や地域のよりよい生活を創造するために、自己の意思決定に基づき、責任をもって行動することについて問題を見いだし課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【態】 ・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、青年期の自立と家族・家庭について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。
2	食生活をつくる 【知】 ・ライフステージに応じた栄養の特徴について理解する。 ・食品の栄養的特質について理解する。 ・食品の調理上の性質について理解する。 【思】 ・食品の調理上の性質について問題を見いだし課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。 【態】 ・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、食生活と健康について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画するとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践する。 子どもと共に育つ 【知】 ・乳幼児期の心身の発達と生活について理解する。 【思】 ・子供の健やかな発達のために親や家族及び地域や社会の果たす役割の重要性について問題を見いだし課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。 【態】 ・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、子供の生活と保育について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画するとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践する。	指導事項 食生活をつくる ・食生活の課題について考える ・食事と栄養・食品 ・調理の基礎 ・教材 教科書、プリント ・一人1台端末の活用 等	食生活をつくる 【知】 ・ライフステージに応じた栄養の特徴について理解している。 ・食品の栄養的特質について理解している。 ・食品の調理上の性質について理解している。 【思】 ・食品の調理上の性質について問題を見いだし課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【態】 ・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、食生活と健康について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。 子どもと共に育つ 【知】 ・乳幼児期の心身の発達と生活について理解している。 【思】 ・子供の健やかな発達のために親や家族及び地域や社会の果たす役割の重要性について問題を見いだし課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【態】 ・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、子供の生活と保育について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。
3	単元名 経済生活を営む 【知】 ・消費者の権利と責任を自覚して行動できるよう契約の重要性について理解する。 ・消費者の権利と責任を自覚して行動できるよう消費生活の現状と課題について理解する。 ・家計の構造について理解する。 ・家計管理について理解する。 【思】 ・責任ある消費について問題を見いだし課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。 ・生涯を見通した生活における経済の管理や計画の重要性について問題を見いだし課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。 【態】 ・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、生活における経済の計画について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践している。 ・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、消費行動と意思決定について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践している。	・指導事項 経済生活を営む ・購入・支払いのルールと方法 ・消費者の権利と責任 ・生涯の経済生活を見通す ・教材 教科書、プリント ・一人1台端末の活用 等	単元名 経済生活を営む 【知】 ・消費者の権利と責任を自覚して行動できるよう契約の重要性について理解している。 ・消費者の権利と責任を自覚して行動できるよう消費生活の現状と課題について理解している。 ・家計の構造について理解している。 ・家計管理について理解している。 【思】 ・責任ある消費について問題を見いだし課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 ・生涯を見通した生活における経済の管理や計画の重要性について問題を見いだし課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【態】 ・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、生活における経済の計画について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。 ・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、消費行動と意思決定について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。

※生徒の理解度や担当者の工夫により進度が変わるため、必ずしも計画どおりに展開するものではありません。